

武漢事務所便り週間新聞記事報告 2010.07.17 - 2010.07.23 15号

2010年7月17日付け 楚天金報より

武漢市は長寿手当を支給、百歳以上の高齢者は毎年7500元を受け取る

昨日、江漢区101歳のお婆さんがうれしいサプライズをもらった。それは武漢市高齢者弁公室より支給された百歳老人長寿手当半年分の3000元(=39000円、1元=13円以下同様)である。武漢市は全国で支給されている百歳老人長寿手当額の中で、最高額を支給しているとのことである。

今年の初めに、武漢市は高齢者優遇政策を施行し、「百歳老人長寿手当」「農村80歳の高齢者に対する生活手当」制度を設け、またこれらの政策を武漢市政府の10大事業の一つとし、武漢市における高齢者への手当支給を促進する。武漢市は百歳高齢者に対して、「4つの500元」という優遇政策を実施している。具体的には毎月500元(=6500円)の長寿手当を支給し、毎年500元 of 健康診断を行い、誕生日の祝い金として500元を支給し、春節慰問金として500元を支給し、毎年一人あたり計7500元(97500円)を支給する。これは、全国の百歳老人の手当金額において最高額である。現在、武漢市で156名の百歳を超える老人がこの政策の恩恵を受けている。

それと同時に、武漢市は農村住民80歳以上の高齢者に一人あたり毎月50元(650円)の生活手当を支給し、4万人近くの農村高齢者が政府から生活手当を受給している。

武漢市は季節ごとに社会化の方式により、高齢者手当を支給する。6月末に武漢市財政が用意した資金は全て支給済である。江漢、青山、漢陽、武昌などの地

域の高齢者は既に百歳老人手当と高齢手当を支給され、今月の内に他の地域の高齢者に順次高齢者手当が支給される。

2010年7月22日付け 武漢晩報より

昨日、武漢の水位は27mを超え、27.09mにまで上昇

一昨日から昨日にかけて、長江の武漢段の水位は急上昇した。昨日20時に、武漢段水位は27.09mに上昇し、前日の20時と比較すると0.26mにも上がり、警戒水位までわずか0.21mほどとなった。長江武漢段は高い水位状態にある見込みだ。これは、今年武漢段において今年初の27m超えであり、過去8年間における最高水位である。

目下、三峡ダム、丹江口ダムの水位は継続的に上昇している。三峡ダムは4万立方メートル/秒の速度で放水し、その上、下流地域はさらに高水位であることから、長江武漢段も高水位のままだと予測されている。長江水文局によると、26日までに武漢の水位は27.10mとなるとの見通しである。



